

ことぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

平成28年11月1日現在の寿台	
総世帯数	1,455世帯
総人口	3,079人
男	1,479人
女	1,600人

松本市寿台公民館
〒399-0021
松本市寿豊丘649-1
TEL. (0263)58-6561
FAX. (0263)86-7964

第40回 寿台文化祭

10月23日(日)に、

寿台文化祭が行われました。爽やかな秋晴れの中、今年も700人以上の方

が来場され、各種発表を楽しましました。



ステージ発表

今年も明善中学校生徒有志によるオープニングを皮切りに、舞踊・合唱・劇など19もの多彩な演目が披露され、観客の目を惹きつけていました。

今年若い力が大いにステージを盛り上げてくれました。小学校3年生の堀内このみさん(二丁目)は、今年も華やかな新体操演技を、同じく3年生の石曾根しずくさん(二丁目)は日本舞踊を披露してくれました。中学



3年1組と3組の合唱

た。中学

生ではRiAの2人が軽快なダンスを踊り、3年1組の合唱、また、1組と3組との合同合唱も披露。高校生では、ステージ最後の締めくくりに、松本美須々ヶ丘高校吹奏楽部による演奏。38名の生徒が演奏だけでなく、笑いも交えた進行で、会場を盛り上げてくれました。老若男女が発表する素晴らしいステージでした。

展示発表・模擬店



子どもに大人気!キーホルダー作り

模擬店で食べ物の販売はステージ発表前部の部が終了してから始まりました。文化祭名物のうどんは、会場内の混乱を避けるよう、食券はステージ発表前に販売されています。また、町内公民館として、今年初めて値段は高いが美味しいと評判のさかたのおやきを販売しました。80個ではありましたがスーパのおよきの倍以上の値段にもかかわらず30分で売り切れてしまいました。

個人やサークルでの手作り作品、洋服・編物・バック。

七宝焼きのアクセサリー等も所狭しと展示されており会場を彩っていました。

また、展示発表しながら値札のついてる作品もあり、手作り品を気に入ってもらえたなら御購入ください。というやさしい販売方法だと思えました。文化祭に相応しい展示発表・模擬店でした。

明善中学生も活躍

オープニングを飾ったのは3年生8人組による寸劇。少し恥ずかしそうに演技していましたが、「いい思い出になった」「絶対に忘れないと思う」などと達成感いっぱい。



オープニングを飾った寸劇

会場の入り口ではボランティアの中学生たちが育成会の皆さんと朝から作り上げた焼きそばを販売。「売るときどうやればいいのか考え、良い経験になった」とのこと。

文化祭当日インタビュー

七宝焼きコスモス

展示発表の中で一際目立ち輝いている(ペンダント・ブローチ等の作品)七宝焼きコスモスの展示場で、中野さん(九丁目)に伺いました。塩尻文化センターを拠点に、6人の有志で活動されていて、全員が70歳以上で運搬や移動が大変との事。また「宝石の様な美しい色が出た時の感激は一人」と話していただいたお顔は、七宝焼きの様に輝いていました。



吟と舞会 晤翠会

大和 晤翠さん

「太鼓連の吉村さんに太鼓と一緒にやってみたらどうかと言われて、難しいなと思いましたが。太鼓はやったことないから。譜面を頂いたけど解らなくて必死で毎日練習しました。やっと覚えて、何十秒何十秒と区切って振り付けしました。やってみて良かったです。あの和太鼓と吟剣詩舞という和の古典舞踊がすごく合ったと思います。おかげさまで皆さんに喜んでいただいたので本当に良かったです」



寿台文化祭に参加して

吟と舞会晤翠会 大和 晤翠

第40回寿台文化祭というおめでたい日に寿台大鼓連とのコラボで参加させていただき、緊張と楽しい一日を過ごさ



和太鼓とのコラボステージ

ていただきました。毎年吟と舞会晤翠会として参加させていただいてお

皆様に真田をテーマにコラボでやらないかと声を掛けていただき即引き受けました。何故なら、以前歌舞伎の中で太鼓と詩舞のコラボを見て心に残っていたからであり、今、若い人達の中で古典舞踊を知らない人が多い中、若い力あふれる太鼓とのコラボで、少しでも知って欲しい気持ちもありました。しかし、詩がないリズムだけの振り付けがとても難しく、秒単位の振り付けが完成した時はホッとしました。太鼓連の若い迫力と構成に私達も奮起し、終わった時は満足感でいっぱいでした。近隣の皆様や遠くの友人仲間が大勢見に来て下さり感謝です。また、寿台の文化祭は他



と違って賑やかで大勢の人が参加しているのが不思議でしたが、体育館の中で展示・ステージとして飲食など開催しているからだと思います。すばらしい文化祭に感謝です。

寿台の防災活動について

寿台防災協議会 会長 内山 博行

最近の国内においては、台風災害・大雨洪水災害・地震災害等と想像を絶する大きな災害が頻繁に発生しています。想像外の大きな災害が何時我々の身に襲いかかるかわかりません。日頃から何を備えれば良いか、常に防災・減災について考え、いざ起きた時には少しでも役立つ工夫をしたいものです。今年度の防災に関する主な取り組みは次の4点でした。

一 防災講座 7月21日(木)



防災講座での講演

寿台公民館において、「寿台における防災と減災について」と「熊本地

震の被災地支援の現状について」の講演を通じ、防災意識を高めました。

二 防災訓練 9月4日(日)

午前10時からは町会毎に災害発生初動訓練を行い、午前11時から寿台体育館にて寿台地区全体訓練として、避難誘導・安否確認・炊出し訓練等を行いました。炊き出し訓練では、おむすびと味噌汁をボランティア部により協力により実施。また、今回の体育館避難者数は267名でした。今後も毎年継続的に実施することが必要です。



災害発生初動訓練後 体育館に避難する各町会



ボランティア部による炊き出し訓練



避難所開設運営訓練

三 災害視察研修 10月3日(月)

二年前に地震災害に見舞われた小谷村を訪問し、災害時の様子やその後の復興状況等を視察してきました。村で起きた過去の災害に学び、再び発生した場合の初動



小谷村への視察研修

訓練を続けてきたことが、人的被害がほとんどなかった結果に繋がったとのこと。如何に日頃の訓練が必要で重要かを学びました。

四 救命講習会 10月29日(土)

昨年引き続き、二回目となる救命講習会を松本広



救急救命講習会

域消防局にお願いし、救急車が来るまでの一次救命処置の心肺蘇生方法を学びました。受講32名が修了しました。以上の取り組みを振り返り、今後も住民の皆さんが多くの知識を持つ様に、活動・継続性を重視していきます。

第43回寿台住民大運動会

9月25日(日)に寿台住民大運動会が開催され、晴天の中、約350人の方々がさわやかな汗を流されました。



七連覇達成の表彰式

可愛い選手宣誓での幕開け

総合順位表

順位	町会名
1	二丁目
2	九丁目
3	五丁目

寿台体育協会事務局